



4年 鈴木 翔平くん

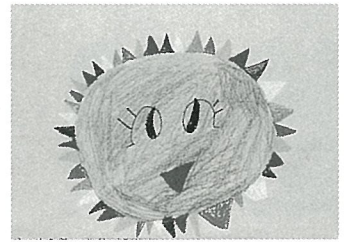
※曲がりとはねに気をつけて書きました。なかなかのできてす。

四年 鈴木翔平  
**光**



1年 岩澤 奈緒さん

※クレヨンでかわいなお日さまをかきました。きれいにぬっておしゃべりにしたよ。



「きらきらちゃん」



あつまれみんなの力作



5年 村越 仁美さん

※全体のバランスに気をつけて書きました。特に「長」の字に苦労しました。

五年 村越 仁美  
**成長**



2年 須合 麻衣さん

※みんなで春を見つげに行つて、しだれざくらを見たよ。とってもきれいだったよ。



「きれいなさくら」



3年 土屋恵利香さん

※まちがわらないように、ていねいに書きました。



「りんごの花」



6年 鈴木 和久くん

※「地」の「土」と「也」のバランスがむずかしかったので、「地」の字がはばりました。

六年 鈴木和久  
**地球**



ひかり歌壇



竹内 紀葉 (上原)

姉は逝き妹も逝き残されし  
憶ひ切なく闇夜更けゆく

先立たれた姉妹への思慕の情が余す如く詠われている。

土屋 こう (虫生)

久々に逢いたる友の差しのべし  
手の温もりの未だ残れる

友情の温もりが、今尚仄かに感じられる。

高梨 キヨ (木戸)

モンゴルへ転勤さるる主治医の  
恩夫なみだして別離の握手

主治医との人間的交流の深さを窺い知ることが出来る。

水須 幸子 (橋場)

もう履けぬ子の靴順に並べたり  
成長の跡を確かむごとく

靴を通して、わが子の成長の足跡を辿り、今後の健やかな成長を願うこと切である。

越川 福子 (宮内)

日溜りに楽しき手仕事事も四時  
部屋内明るく日脚伸びたり

時間の経つのも忘れて手仕事に熱中している様子がよく詠われている。

評者 鈴木甲子幸